

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	2373900634
法人名	株式会社 丸貴
事業所名	グループホーム ソブエピア
訪問調査日	平成19年12月25日
評価確定日	平成20年1月28日
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社ヤトウ

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月29日

【評価実施概要】

事業所番号	2373900634		
法人名	株式会社 丸貴		
事業所名	グループホーム ソブエピア		
所在地	稲沢市祖父江町祖父江宮西58-4 (電話) 0587-81-1231		
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社ヤトウ		
所在地	名古屋市中区金山一丁目8番20号 シャローナビル7A		
訪問調査日	平成19年12月25日	評価確定日	平成20年1月28日

【情報提供票より】(平成19年12月6日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年8月1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	20 人 常勤 13人, 非常勤 7人, 常勤換算 10人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	1 階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	21,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(平成19年12月6日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	3名	要介護2	3名		
要介護3	7名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	1名		
年齢	平均 82 歳	最低 64 歳	最高 97 歳		
協力医療機関名	尾西病院				

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

入居者の安全と健康を第一に考え、理念に基づき、日常が笑いのある楽しい生活を提供できるように、職員は常に側で見守り、観察に努め、本人のできることをコミュニケーションを図りながら少しでも増えるよう取り組んでいる。クリスマス会や誕生日会の際には、会社から入居者にプレゼントが送られており、バックアップ体制がある。重度の方でも対応できる設備と職員の創意工夫で、介護度が高くなっても安心して暮らせるよう管理者をはじめ職員は取り組んでいる。現在、入居者の介護度や年齢が高い構成の中、できる限り職員優先の生活ではなく、入居者のペースを尊重した生活に努め、食事の時には、作業が途中で職員は手を休め、入居者と一緒に食事を摂り、入居者に不安や遠慮を与えないよう徹底し、共に楽しみ共感することを大切にしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	改善課題の取り組みとして、職員間での情報の共有を徹底するため、業務日誌にサインの欄を設けた。また、身体機能の維持向上にラジオ体操と盆踊りに取り組んだり、週2~3回の散歩や買い物など外に出れる機会を増やすよう工夫している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価については、第三者が入ることにより、良い点も悪い点も知ることができる。井の中の蛙にならないよう大切な機会として捉えている。全職員が自己評価に取り組み、ほとんどの職員が自己評価を提出し、管理者が取りまとめた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議はまだ実施されておらず、今後実施できるよう準備をしている段階である。運営推進会議は、地域の理解や支援を得る良い機会であることから、意義や役割を理解し、市や町内会、民生委員、近所の方、家族に積極的に参加してもらえよう、働きかけていくことを期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	意見箱を玄関に設置しているが、家族は直接、管理者に話すことが多い。いただいた意見については、申し送りで職員と話し合い、家族には管理者から報告や説明をし、理解していただいている。ホームの設立記念日には、家族を招待し食事を一緒に摂ったり、レクリエーションを楽しんでいる。心身面で変化があった場合は、すぐに家族に電話で連絡している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入しているが、回覧板は回されていない。地域の祭りには参加している。近所の喫茶店を利用しており、馴染みの関係ができていく。多種多様のボランティアの訪問があり、入居者は絵手紙や民謡、踊りなどを楽しんでいる。保育園との交流を図りたいと考え、お願いする予定である。地域との交流については課題として捉え、ホームのできそうなことを検討している。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は職員と一緒に考えつくりあげ、「私たちは家庭的な雰囲気の中で、笑いとお楽しみのある生活をします。いつも私たちがそばにいます。できることを増やしましょう。」としている。職員には、地域密着型サービスについて、勉強会の中で説明をした。		地域密着型サービスとしての役割や意義について理解しており、職員は理念を意識してケアにあたっている。地域との交流については課題として認識しており、理念の中にも表現されることを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を念頭に置き、入居者に接している。事務所、各フロアの見やすい場所に理念は掲示されている。申し送りや唱和しており、実践に活かせるようカンファレンスの中でも話し合っている。安全と健康を第一に考え、笑いのある楽しい生活。職員側で見守り、入居者にはできることは行ってもらえるよう自立支援に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しているが、回覧板は回されていない。地域の祭りには参加している。近所の喫茶店を利用しており、馴染みの関係ができています。多種多様のボランティアの訪問があり、入居者は絵手紙や民謡、踊りなどを楽しんでいる。保育園との交流を図りたいと考え、お願いする予定である。地域との交流については課題として捉え、ホームのできそうなことを検討している。		地域の方に関心や理解してもらえるように、ホームから地域の活動に参加することや、町内会との関わりを持てるよう働きかけていくことに期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価については、第三者が入ることにより、良い点も悪い点も知ることができる。「井の中の蛙」にならないよう大切な機会として捉えている。また、家族アンケートの実施により家族の思いを知ることができ、自分たちの取り組みを振り返り、今後活かしていきたいと取り組んでいる。前回の評価の課題として、外出支援や身体機能の維持向上に取り組んだ。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議はまだ実施されておらず、今後実施できるよう準備をしている段階である。</p>		<p>運営推進会議は、地域の理解や支援を得る良い機会であることから、意義や役割を理解し、市や町内会、民生委員、近所の方、家族に積極的に参加してもらえよう、働きかけていくことを期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市へは書類の手続きなどで訪問することはあるが、ホームからの情報提供や意見交換をするなどの関係には至っていない。</p>		<p>訪問した際には、書類の提出だけではなく、話す機会を設け、ホームの考え方や実情を伝えることで、現場の状況を知ってもらい理解や支援へつなげることができる、関係づくりに取り組むことを期待したい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月、入居者のADL（日常生活動作）や健康状態、行動状況について記載し家族に送付している。写真はプライバシーを考慮し、ホーム内には掲示はせず、アルバムにして玄関に置いている。土日は家族の訪問も多いので、管理者がリーダーのどちらかは出勤し、対応できる体制をとっている。家族アンケートの結果からも良好な関係がうかがえる。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を玄関に設置しているが、家族は直接、管理者に話すことが多い。いただいた意見については、申し送りで職員と話し合い、家族には管理者から報告や説明をし、理解していただいている。ホームの設立記念日には、家族を招待し食事を一緒に摂ったり、レクリエーションを楽しんでいる。心身面で変化があった場合は、すぐに家族に電話で連絡している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>以前は、2ユニット18名を意識し、職員のローテーションを組んでいたが、入居者へのダメージを考慮し、現在は各ユニットで職員を固定している。固定することにより、入居者の状態にも安定がみられた。職員が退職する場合は、入居者にきちんと説明し、家族には、来訪時に新しい職員の紹介をしている。職員の異動により影響を受けやすい入居者に対しては、不安を与えないよう十分留意した対応を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の育成については、外部、内部研修を実施しており、内部研修は年間計画を立てている。職員で担当を決め、担当者が講師役を担い、感染症についてや介護技術、防火訓練、救急救命講習などを実施している。全職員が参加できるよう、同じ研修を月2回行っている。外部研修には、職員が順次参加できるよう取り組んでおり、受講後は、勉強会で報告している。欠席者はレポートを確認している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>愛知県グループホーム連絡協議会に加入しており、研修に参加している。研修には職員が順番で参加できるよう取り組んでいる。</p>		<p>研修に参加する機会は設けられている。今後はさらに、他のグループホームとの関わりや交流の機会が得られるよう取り組みに期待したい。</p>
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>体験入居は実施していないが、希望があれば対応することは可能である。病院や他の施設から入居するケースが多いことから、家族に見学に来てもらい、話を聞いている。本人との面談については、日程の可能な限り、病院を訪問し面談している。入居後は、入居者の不安や戸惑いを少しでもなくすよう、職員はまず傾聴し、本人の思いを受けとめ共感することに努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者を人生の先輩として敬い、生活の中で、調理や家事など、本人のできることを行ってもらえるよう取り組んでいる。入居者が嫌がることはしないを基本とし、観察、傾聴を重視し否定はせず共感できるようコミュニケーションを図っている。入居者の得意なことには参加してもらい、職員は入居者から教えてもらうことも多い。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>その人を知ることが、ケアの第一歩であると考え、日常の会話の中から本人の言葉を大切にし、意向を汲み取れるよう努力している。家族との会話から新たな認識を得ることもある。職員は入居者の日々の行動や表情など、関わりの中で本人の思いを察知する能力を身につけるよう、"観察"に力を注いでいる。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居後はアセスメント表を参考に仮の介護計画を作成している。まずはホームに慣れてもらうことを基本に考え、一週間ほど様子を見て、カンファレンスで話し合い、再度計画を立てている。家族の意向も聞き取り、同意をもらっている。新しい介護計画が作成された場合は、朝の申し送り職員に伝達し、職員が各自確認するようになっている。入居者の介護記録の中には、介護計画が記載され、職員が介護計画に沿ってケアが行えるよう工夫されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間は短期目標3カ月、長期目標6カ月としており、計画作成担当者が中心となり、カンファレンスで職員の意見を聞きながら、毎月、介護計画に対する状況とADL（日常生活動作）について細かくチェックしている。3カ月毎に介護計画の見直しを実施しており、状態に変化があった場合や、病院から退院した場合など、様子を観察しながら随時見直しを実施している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者、家族にとって継続的な支援が提供できるよう要望に対しては柔軟に対応するよう心がけている。管理者が看護職員で糖尿病入居者に対しては血糖値測定からインシュリン注射を毎日行っている。複数の病気をもった入居者、車椅子対応の入居者など現状では介護度の高い方たちが多いが柔軟な対応を行っている。また、通院の支援もホームで行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>提携医療機関は地域の総合的医療機関とされているが基本的には各入居者たちのかかりつけ医の受診となっている。受診結果の報告は家族から管理者が計画作成担当者に確実に行われ、業務日誌において全職員に周知が図られている。家族からも受診支援として満足を得られている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>医療機関、看護、介護との連携態勢が十分でないため原則、常時医療が必要になった時の対応は難しい。入居時、家族に終末期について話をして理解をもらい、状態に応じてその時どきに意向を聴いて対応している。一連の経過や対応を関係する者たちで把握して共有できている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日常的に関わる中では言葉遣いに注意するように心がけている。個人情報の取り扱いについて「個人情報使用同意書」にて同意を得ている。一人ひとりの情報については破棄時にシュレッターで確実に処理をしている。写真の掲示については個人が特定されてしまうため掲示せずアルバムにして、家族たちがみられるよう工夫している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>望む過ごし方、ペースを尊重した支援については、必ずお気に入りの音楽を毎日聴きたい入居者には自由に聴けるように配慮している。また、皆と過ごす事が難しい時などは一人で気ままに過ごせるように支援している。しかし、一人ひとり「その人らしい」暮らしの支援は職員体制から十分にできていない部分もある。飲酒、喫煙については入居時に説明をし、ホーム内外とも禁止であるが、家族からも健康面から賛同を得ている。</p>		<p>一人ひとりに対してどのように過ごしたいのかを職員間で再度考慮しただけ希望に添った支援となるよう期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の能力に合わせて買い物、皮むき、テーブル拭きや片付けを行っている。献立は一緒に考えることが難しいため職員がたてている。身体状況に合わせて食事内容の形態を考慮したり便秘対策として必ずフルーツを添えるなど行っている。また、時には外食をして好みの食事が摂れ、楽しめるような機会もつくっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2フロアを交互で行っているので毎日入浴可能である。大方時間は決まっているが午前と午後に分けて提供している。入浴拒否の方にはその人が何故嫌がるのかを把握したうえで上手に誘導できている。檜風呂の個浴で、車椅子の入たちも十分なスペースが確保できている。現在、脱衣所にカーテンをつけて羞恥心もできるだけ考慮したいと計画中である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴は入居時に把握しているが日々の生活の中で引き出したり、つなげていくことが介護度により難しい。生活歴には関係なくてもその時、入居者の力に応じて可能であれば声をかけたり、また褒めることによって喜びを感じてもらっている。今まで針を持ったことの無い人が刺し子を楽しんだりもしている。気晴らしとして不穏時には近くをドライブして支援を行っている。また、毎朝、体操を行って張りのある楽しみごととして好評である。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣に入居者の馴染みの喫茶店があり、知り合いに会えるということもあり車椅子の入たちも一緒によくでかけている。散歩、買い物、気晴らしとしてドライブや時には庭で昼食をとったりしている。可能なかぎり戸外に出かけられるように心がけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけられていないがチャイムが初めから備わっており現在も人の出入りを察することが容易な状態である。民家が少ないので近隣の人たちに声をかけてもらうなどの協力は難しいが隣人の方は気軽に訪問している。外に出て行く場合は交通量が比較的多く心配なため付き添って対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署も交えて避難訓練と救急対応について行っている。先回は夜間想定で行い職員は避難時の対応を周知している。地域の住民の協力は近くに民家が少なく難しい。また、訓練後防災訓練記録に記している。災害時の備蓄品として飲料水や卓上コンロを備えている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の栄養摂取、水分摂取量はおおまかに把握しているが現在は定期的に栄養士などからチェックは受けていない。水分の必要な人、発熱時などにはこまめに夜間においても巡視時等にとってもらうように支援している。また管理が必要な人には摂取量と排出量の確認も行っている。また数種類の飲料水で1日1000ml程を目安にしている。食事は状態に応じて提供できミキサー食、大盛り食など適宜対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	外回りや玄関は広く、鉢の植木や花が置かれて明るく訪れやすい雰囲気となっている。共用部分では訪問時は両ユニット合同でクリスマス会を楽しんでいた。壁には入居者の絵手紙の作品や刺し子の作品が掲げられている。廊下も広く通りやすくなっていて洗面所は一箇所に豊富に備えられている。浴室は檜風呂で車椅子の人を介助しながら、ゆっくり入浴できる広さを確保している。昼間は童謡の音楽を流し、温湿度計もかけられ居心地よく過ごせる空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド、クローゼット、エアコン、防災カーテンが備えられ、窓からは自然の景色も眺められる。転倒防止の為に必要な人にはセンサーマットをベッドの下に敷いて早急に対応できるように取り組んでいる。入居時には「持ち込みご案内」で使い慣れたものの持ち込みを伝えている。家族写真を飾ったり、ラジオ、テレビなどで一人ひとりがゆっくりくつろげる居室となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。